

温浴施設

湖楽おんやど富士吟景

エコキュート導入により、ボイラ燃料を削減し環境保護を目指す



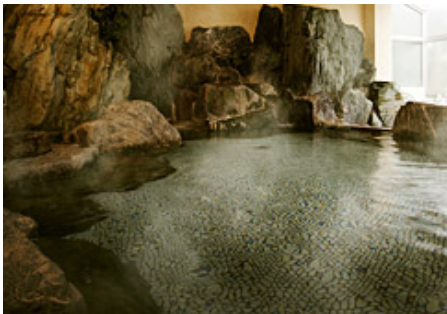
宿から見た富士山



宿全景



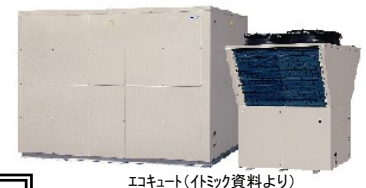
宿内(フロント付近)



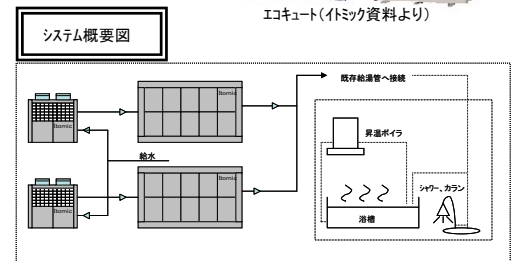
露天風呂



導入されたエコキュート



エコキュート(イトミック資料より)



65kW × 1台 [イトミック] / 貯湯槽 5.4m³ × 1基
65kW × 1台 [イトミック] / 貯湯槽 6.0m³ × 1基

所在地: 山梨県南都留郡富士河口湖町浅川132
設計・監理・補助金申請: 株式会社エコマック

○ 山梨県富士河口湖町

国立公園内の景観保護を重視し、エコキュート導入で重油使用量削減

日本一の山、雄大な富士とその麓に絶えず穏やかに並立つ河口湖。最高のロケーションの目前に位置し、四季折々の自然の変化に富、人々に心豊かな時間を与えてくれる。春はうららかに美しく、新緑は清々しく、紅葉は趣深く、雪の富士は荘厳にして麗しくと四季に恵まれたお宿であり、首都圏より観光アクセスが良く多くの環境客が訪れている。「さかさ富士」の雄大さで知られる河口湖。その周囲にある富士河口湖温泉郷は、1997年の開湯になります。歴史はまだ新しいものの、富士山の美観と紺碧に輝く河口湖という絶好のロケーションから富士山に最も近い高成分の温泉郷として広く知られるようになった。源泉は、「麗峰の湯」「天水の湯」「霊水の湯」「芙蓉の湯」「秀麗の湯」の5つで、泉質は少しずつ異なり、富士山の裾野、澄んだ湖水の畔で湯につかるひときは、心身ともにリラックスでき喜ばれている。

同ホテルでは自然豊かなこの地域にお客さまを気持ちよくお迎えしたいという思いがあるが、ボイラ使用時に発生する排気ガスが環境に与える影響を懸念していた。また、エネルギーコストの面で、冬期の燃料費の増大も問題となっていた。

限られたスペースを有効利用した、ボイラとエコキュートの併用方式を採用

そこで、河口湖の発展と環境保護を考慮し低コストで環境にやさしい、エコキュートの導入を検討してきた。浴室のシャワーカラン分のお湯はエコキュートでまかない、温泉部分は従来のボイラ対応で行い、油の燃料を削減することを検討したところ効果が見込まれたため導入に至った。エコキュート導入にあたり限られたスペースをいかに効果的にどのように配置するか、機器メーカー、事業者との検討を数回繰り返し、既存ボイラ室の隣の屋内に設置することを決定した。

平成24年エネルギー使用合理化支援事業補助金の活用及びグリーン 税制の申請を実施

導入にあたっては平成24年度のエネルギー使用合理化支援事業補助金を活用し「技術の先端制」「省エネ効果」及び「費用対策効果」を踏まえ対応を図ったことにより、費用の1/3を賄うことができた。また、エネルギーの有効な利用者の促進に著しく視する設備等として、資源エネルギー庁のグリーン投資減税を申請した。今後の富士山が世界遺産に登録される可能性も視野に入れ、環境に配慮したエコキュートの導入を実施できたことは地域の皆さまの先駆者として河口湖の環境保護に大きく貢献したと言える。